

## CASE ①

飯島さん一家 移住歴: 3年4か月 → 鳩山町在住

妻は農業を始め、ユーカリ栽培を楽しくやっています。  
隣近所から野菜のおすそわけも。

夫 紘一さん(会社員・39歳)  
妻 千春さん(農業・36歳)  
長男 千尋くん(12歳)  
次男 千景くん(10歳)



神

奈川県藤沢市に住んでいたんですが、100坪ほどの広い土地を求めて、北上しながら探し続けてました。1年近くかけてたどり着いたのが埼玉県鳩山町だったんです。

条件面で言うと、都内まで通勤できるということ。今はバスと電車を乗り継いで大体2時間ぐらい。毎日座って通勤できるので、寝るか読書しながら過ごします。移住前はまったく座れなかったのが、通勤中の負担が軽減されました。もう一つの条件は自然が豊かということ。2人の息子も自然に囲まれて暮らしていて、本当に素直になりました。子育ての環境が良いんです。ここの水が全然違うので、妻の肌荒れも治りましたね。

移住後は農地を借りて妻がユーカリ、

ペパーミント、ネギを栽培。僕はそのファームの手伝いもしています。ご近所から野菜をいただいたり、持ち寄りでバーベキューをしたり。食費は圧倒的に減りました。それに念願の薪ストーブを気兼ねなく使えて、光熱費も軽減できてます。休日の過ごし方も変わって農作業や、移住してからできた地元の友人と交流を深めていますね。

移住はゴールではなく、そこで何を始めるかが重要。地元の方としっかりコミュニケーションをとっていれば、いろんなことが見えてくるはずですよ。

## 移住者インタビュー

～それぞれの埼玉物語～

埼玉に移住して充実の新しい生活を手に入れた先輩家族たちの「埼玉物語」を聞いてみた。

も

ともと年間30泊するほどのキャンプ好き。だから、趣味のアウトドアが楽しめる自然豊かで広い家で子どもを育てたいとずっと思っていました。

5年ほど家を探していたんですが、なかなか見つからず、ある日飯能市が募集していた「農のある暮らし飯能住まい」をネットで見つけて「これだ!」と。そこには僕がやりたかった生活のすべてが書いてありました。立川市の職場にも車で通える距離だし、もうここしかない。翌日には市役所に相談に行っていましたね。地盤が強いかどうかは土地選びの条件

の一つでした。都心には電車1本で行けるし、始発駅でもある。入間市にいれば大型ショッピングモールもある。欠点を見つけるのが難しかったぐらいです。

市役所の人がバックアップしてくれて、芋ほり体験とか夏祭りに参加し、地元の人に誘われたカラオケ大会では尾崎豊を熱唱。交流の場がたくさんあります。今まで週末に3時間かけてキャンプ場に行っていたのが、今はバーベキュー場まで10分。いつでもキャンプが可能です。

子どもたちが自慢できる故郷を作りたいんですよ。将来、孫を連れて帰って来れるような田舎にしたいですね。

## CASE ②

遠藤さん一家 移住歴: 1年6か月 → 飯能市在住

趣味のアウトドアができる自然豊かな場所に移住。  
子どもたちが自慢できる故郷を作れると思いました。

夫 拓耶さん(会社員・32歳)  
妻 望さん(保育士・30歳)  
長男 春翔くん(8歳)  
長女 美羽ちゃん(5歳)  
次男 愛翔くん(3歳)

